

セキュリティ脆弱性分析! 何を使いますか?

Secu**guard** **SSE**

情報保護の第一歩は! Secuguard SSEで診断!

大韓民国で開発されたシステム脆弱性診断ツールSSEは、システムの様々なセキュリティ脆弱性を自動的に診断し、検出された問題の解決方法を提供し、ハッキングやコンピュータ犯罪から予防・保護するセキュリティソリューションです。

大韓民国で最初の CVE
認証マーク取得製品!
CVE(Common Vulnerability Exposure)



CC 認証取得
CC認証EAL2等級取得!
CC(Common Criteria)



SSEの詳細特長

✓ 大韓民国で最初のCEV Compatibility認証取得

- ・国際セキュリティ脆弱性標準化団体MITREがセキュリティ脆弱性規格に準拠した製品のみを与えるCVE(Common Vulnerability Exposure)認証を取得

✓ オンラインとオフラインの自動更新

- ・最新コンソールモジュール、セキュリティ脆弱性診断モジュール、脆弱性DB自動更新
- ・閉域網ユーザのためのオフラインアップデート機能を提供

✓ 高速・強力なセキュリティ脆弱性診断

- ・Knowledge Baseを利用したモジュール間の情報共有により診断時間の大幅短縮
- ・強力かつ多様なパスワードクラッキング機能
- ・個別診断、一括診断、サーバ別診断など多彩な診断方法の提供
- ・OSのセキュリティ脆弱性とOS上のユーザ設定によるセキュリティ脆弱性を共に診断
- ・OSの重要なファイルについてアクセスと改ざんの診断
- ・発見された脆弱性について危険度レベル、内容、影響、対策案の提示

✓ 簡易なユーザインターフェイス

- ・直感的でローカライズされたユーザインターフェイス
- ・全機能について分かり易く詳しいオンラインヘルプの提供
- ・分かり易い診断履歴、進行ステータス、診断結果レポート

✓ 多様なレポート

- ・脆弱性リスト、危険度別脆弱性分布など14種以上のレポート
- ・Crystal Reportで作成した多様なグラフと表形式レポート
- ・HTML、Word、Excel、PDFなどの多様なファイル形式への変換機能

✓ 様々なOSをサポート

- ・Unixware、Solaris、HP-UX、AIX、Tru64、Linuxなど、全Unix系のOSサポート
- ・Windows 2000、Windows 2003、Windows 2008、Windows 7など、全Windows系サポート

✓ セキュリティ脆弱性の中央管理

- ・1つのコンソール/エージェントで、分散した複数サーバのセキュリティ脆弱性診断を同時に実行
- ・複数ホストの同時セキュリティ脆弱性診断による診断時間の大幅短縮

✓ 通信とデータの暗号化処理でセキュリティ強化

- ・コンソールとサーバ間の通信メッセージの暗号化処理で、情報が流出しても安全
- ・認証されたコンソールとユーザのみが脆弱性診断の実行・内容照会可能

✓ IPv4/IPv6サポート

- ・IPv4/次世代インターネットアドレスIPv6のサポート

✓ 詳細な脆弱性情報提供

- ・脆弱性DBに基づき、様々な形の脆弱性情報提供
- ・脆弱性グループ別、OS別、危険度別脆弱性情報提供

✓ 簡単なインストールと拡張

- ・1つのコンソールでサーバとAgentを簡単にインストール
- ・負荷分散のために、複数コンソール運用が可能

✓ 多様な付加機能を提供

- ・予約診断機能
- ・診断結果E-mail送信機能
- ・Agentステータスのリアルタイム監視機能
- ・NileSOFTセキュリティチームからの最新脆弱性診断モジュール提供
- ・脆弱性情報リンク機能
- ・サーバのバッチ適用有無の診断機能
- ・ESMとの連携機能
- ・グループ別Agent管理機能
- ・レポートから除外する脆弱性の設定機能

SSEの効果



セキュリティ事故防止

常時運用する情報システムのセキュリティ脆弱性分析を行い、事故を防止します。



セキュリティレベル向上

脆弱性分析ツールによる多数のセキュリティ脆弱性の理解を管理政策へ反映する事で、セキュリティレベルの向上を図れます。



セキュリティレベルの評価ツール

任意の時点で、現在の情報システムのセキュリティステータスを把握でき、これに基づいて情報システムの安全な運用を図れます。



事故(安全)対策

通常のセキュリティ脆弱性分析・措置により、侵入防止・侵入検知システム障害時の被害を最小限に抑えられます。

SSEの実行画面と機能

▲ 診断進行画面

▲ 脆弱性診断結果サマリー

脆弱性診断結果情報

脆弱性影響情報

脆弱性対応策提示

▲ ツリー形式でAgent/サーバ診断項目管理

▲ サーバ別診断項目管理

▲ 複数サーバの同時管理

▲ 色別脆弱性レベル

▲ 脆弱性編集機能

▲ 参照リンク表示

▲ オンライン・オフライン更新

▲ 項目別診断と予約診断機能

SSEの構造と診断項目

SSE構造 Host based Vulnerability Assessment Tool Process

AIX
 HP-UX
 Solaris
 Windows Server
 Windows PC/Server

OS	診断項目
UNIX/Linux	<ul style="list-style-type: none"> Passwordの関連脆弱性 X Windowsの関連脆弱性 FTPの脆弱性 Utilitiesの脆弱性 File Sytemの脆弱性 DBの脆弱性 デーモンの脆弱性 RPCの脆弱性 WWW/HTTPとCGIの脆弱性 DNS/BINDの関連脆弱性 Backdoorsの脆弱性 Packetの関連脆弱性 Portの脆弱性 NIS/NIS+の脆弱性
Windows	<ul style="list-style-type: none"> Passwordの関連脆弱性 Packetの関連脆弱性 DBの脆弱性 特定ファイルの脆弱性 アプリケーションの脆弱性 Registryの脆弱性 Exchange serverの脆弱性 WWW/HTTPとCGIの脆弱性 SMTPとMailの関連脆弱性 Backdoorsの脆弱性 Internet Explorerの脆弱性 管理者、ユーザの環境脆弱性
その他	<ul style="list-style-type: none"> 特定ファイルの脆弱性 管理者、ユーザの環境脆弱性 SMTPとMailの関連脆弱性 Firewalls/Filters/Proxiesの脆弱性 Networkの関連コマンド脆弱性 リモートアクセスコマンドの脆弱性 その他のアプリケーションの脆弱性 Firewalls/Filters/Proxiesの脆弱性 その他のサーバサービスの脆弱性 Internet Information Serverの脆弱性

SSEの多様なレポート

- 脆弱性リスト、危険度別脆弱性分布など14種以上のレポート
- Crystal Reportで作成した多様なグラフと表形式レポート
- HTML、Word、Excel、PDFなどの多様なファイル形式への変換機能

▲ サマリーレポート

▲ 詳細レポート